

第4回

さまざまな視点で 世界を見る

モンゴル編

7.11 2026
(土)

大阪大学
箕面キャンパス

大阪大学外国語学部での学びの一部に触れながら、五感で世界を体感する一日！
毎年大好評のイベントの、今回は第4回モンゴル編です。
箕面キャンパスのあちこちをめぐって、全身でモンゴルを楽しみ、学んでください。



● 講演会

司馬さんとモンゴル

13:00～15:30 (12:30 開場)

外国学研究講義棟 1階大講義室

大阪大学モンゴル語専攻の先輩である司馬遼太郎さん。
本講演ではさまざまな視点から司馬さんとモンゴルを追求します。

参加費 1,000円 (モンゴル土産つき)

定員 200名 (要事前申込)

[お申し込みはこちら](#)

申込締切：7月10日(金)正午

要事前
申込



● モンゴルの衣食住・遊びと音楽

遊牧文化祭

12:00～16:30

3階ピロティ、阪大広場、
大阪外国語大学記念ホール

モンゴル料理をはじめとした、
モンゴルの生活の一部を体感できる
ようなブースがたくさん！



申込不要

講演会「司馬さんとモンゴル」



13:00~15:30 大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟 1階大講義室

▶ 13:00~13:05 ご挨拶 今岡良子（大阪大学外国語学部モンゴル語専攻准教授）

13:05~13:50 講演「司馬さんとモンゴル~モンゴル語専攻の後輩たちへ~」

半世紀以上前、モンゴルを学び始めたばかりの学生であった講師へ先輩司馬さんから一通の手紙が届く。そこに綴られたモンゴルと母校への深い思いは、大阪外国語大学から大阪大学外国語学部の学生へとリレーされ続けた。戦雲が随所に立ち昇るいま、大阪の「外語」の歴史を象徴する「烈士の碑」を傍に語られる「司馬さんとモンゴル」の物語。

講師 芝山豊さん

日本モンゴル文学会名誉会長、元清泉女学院大学学長。40有余年、本務の傍ら母校大阪外国語大学、大阪大学外国語学部で講義した。編著書に『モンゴル文学への誘い』（明石書店）、『聖書とモンゴル』（教文館）等がある。

★当日の講演には、司馬遼太郎著『街道をゆく5モンゴル紀行』、『草原の記』が登場します。ぜひご一読の上、ご参加ください。

休憩（各展示をぜひご覧ください）



14:10~14:30 馬頭琴、喉歌(ホーミー)



演奏者 福井則之さん

馬頭琴弾き 大学生のころから独学でホーミーと馬頭琴を始める。2004年に中国の内モンゴル自治区に留学。内蒙古大学芸術学院にて馬頭琴を専攻。馬頭琴はハスバガン氏、ホーミーはフグジルトゥ氏に師事する。帰国後は馬頭琴・ホーミー教室を主催し、各地で演奏活動やワークショップを行う。

14:30~15:30 座談会「司馬さんの後輩、さまざまなジャーナリスト」

産経新聞の記者でもあった司馬さん。同じく記者として「書くこと」を仕事としている卒業生たちに、「モンゴルに学び」、そして、「さまざまな視点で世界を見て」、今改めて思うことを語ってまいります。

登壇者 モンゴル語専攻卒業生 町田幸彦さん 他

1975年大阪外国語大学モンゴル語学科入学。1978-80年、モンゴル国立大学文学部留学。82年、大阪外大卒、毎日新聞社入社。天津・松山・宇治支局、大阪経済部を経て、91年より外信部配属。その後、ウィーン、モスクワ、ロンドン（欧州総局長）特派員を歴任。2009年、同社を退職後、東洋英和女学院大学国際社会学部教授。2025年、同大名誉教授。

料理
MONGOL
FOOD



ホーショール

首都サラダ



ボーズ

ホルホグ
(石焼骨付き羊肉)



乳茶